

—9月定例会 一般質問・市長答弁—

大企業中心なるも企業収益は回復してきている中で、地域の雇用面においては停滞を余儀なくされていることを磐田管内有効求人倍率は示している。1.0を下回る状況から脱していないこの半年の実態を危惧し、工業都市磐田市の抱える構造的な課題が製造業の海外シフトにより明らかになってきたと思慮し、国の“地方再生”政策を先取りする位の積極的な対策が必要と考え、「雇用創造」をテーマにした質問と、もう一点は地域から強い要望を受けている「ひょうたん



池の整備」について質問いたしました。ひょうたん池整備については、平成7年に請願が提出(4,889名の署名)され、議会で採択された経緯があります。市長の回答要旨は下記の通りでありました。

1. 有効求人倍率に見る雇用創出課題

○磐田管内の有効求人倍率が1.0を下回る現状に対する見解を。

景気が徐々に上向いてきたとの声はあるが、多くはまだ厳しい状況と伺っている。雇用状況は技術系の採用を求める声が多く、求職者とのミスマッチを感じている。

○産業構造転換に対する施策を伺う。

産業展示会等出展支援事業や海外展開支援事業など、さまざまなきっかけづくりを行っている。市としてできることを提案したい。

○新産業創出では農業分野も期待するが、現在状況は。

農業を含めた新たなビジネスマッチングの場として、いわた産業振興フェアを開催し、新産業創出の機会を増やしている。昨年度は市内で初めてとなる6次産業化法に基づく認定業者が誕生した。また、沿岸部にある広大な土地に植物工場を含めたいろいろな提案をするとか、ありとあらゆる可能性を追求していく。今後も農業に関する新たなビジネススタイルを提案できるよう検討したい。

○就業を希望する女性に対する支援の積極的な推進を。

女性企業家支援事業で、創業したい女性を支援している。また、策定中の子ども・子育て支援計画において、女性の活躍の場や雇用創出を含めたさまざまな施策の検討を進めていく。

2. ひょうたん池整備とホタルの里づくり

○湛水防除池との連携によるひょうたん池の拡充整備を。

○ホタル飼育舎・観賞舎拡張によるホタルの里づくり推進を。

ひょうたん池自然を考えよう会の皆さんの活動により、良好な水辺の環境が整備・保全され、市民の憩いの場、子供たちの学習の場となり、また、ホタル観賞会への来場者が増加し市民に親しまれるイベントとなっている。しかし、合併前から地域にはいろいろな課題があちこ

ちにあり、市全体のバランスをとりながら一つ一つ充実させていくスタンスをとっている。現時点では、池南側の拡張整備やホタルドームの建設のような事業拡張よりも、調整池の整備を優先して進めたい。

